操作説明書

シリアル番号の範囲

GS-2669RT
GS-3369RT
GS-4069RT

GS6911-101 から

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

First Edition
Third Printing
Part No. 229831JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、弊社にお問い合わせください。

お問合せ先:

インターネット:www.genielift.com

E メール:awp.techpub@terex.com

目次

Copyright © 2011 Terex Corporation

第 1 版:第 3 刷 2012 年 1 月

「Genie」は米国およびその他の国における Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。「GS」は Terex South Dakota, Inc. の商標です。

本機械は
ANSI/SIA 92.6
CAN B.354.2 に適合しています。

はじめに

所有者、ユーザー、およびオペレータ:

弊社の装置をお選びいただきありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。装置のユーザーまたはオペレータとして次の点を実施いただくことによって、安全に大きく貢献いただけると考えます。

1 従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う。

2 本マニュアルなど、装置に付属しているマニュアルの指示を読み、理解して従う。

3 作業場における一般的な安全管理を行う。

4 訓練を受けたオペレータあるいは承認されたオペレータのみが、事情に通じ知識が豊富な監督の指示を受けながら機械を操作する。

危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ー 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。

安全警報マーク ー ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

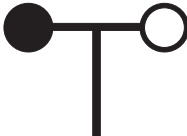
危険 — 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

警告 — 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

要注意 — 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 — 物品の損傷に関するメッセージです。

用途

本製品は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることのみを用途としています。

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

シンボルと危険を表すイラストの定義

操作説明書を読んでください	サービスマニュアルを読んでください	挟まる危険	挟まる危険	衝突の危険
転倒の危険	転倒の危険	転倒の危険	転倒の危険	感電の危険
感電の危険	爆発の危険	火災の危険	やけどの危険	皮膚への噴射の危険
安全アームをセットしてください	可動部に近づかないでください	アウトリガーやタイヤに近づかないでください	平らな地面に機械を移動してください	シャーシ台を閉じてください
作業台を下げてください	アウトリガーで水平にできない場所に設置しないでください	必要な間隔を維持してください	適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください	紙類を使用して漏れを調べてください

シンボルと危険を表すイラストの定義

作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。

電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧	必要な距離	
0 ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50 ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200 ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350 ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500 ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750 ～ 1000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長時の最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載荷重量 – GS-2669RT		
収納された作業台	1500 lbs	68 kg
作業台延長部 – 作業台のみ	1200 lbs	544 kg
作業台延長 – 延長台のみ	300 lbs	136 kg
最大作業員数		4

1500 lbs / 680 kg 300 lbs / 136 kg 1200 lbs / 544 kg

最大積載荷重量 – GS-3369RT		
収納された作業台	1000 lbs	454 kg
作業台延長部 – 作業台のみ	700 lbs	318 kg
作業台延長 – 延長台のみ	300 lbs	136 kg
最大作業員数		4

1000 lbs / 454 kg 300 lbs / 136 kg 700 lbs / 318 kg

最大積載荷重量 – GS-4069RT		
収納された作業台	800 lbs	363 kg
作業台延長部 – 作業台のみ	500 lbs	227 kg
作業台延長 – 延長台のみ	300 lbs	136 kg
最大作業員数		3

800 lbs / 363 kg 300 lbs / 136 kg 500 lbs / 227 kg

作業場の安全

機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

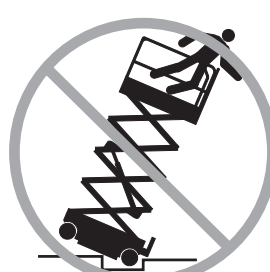
水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面上にある場合にのみシャーシ上で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合は、次の操作を行います。
作業台を下げます。機械を安定した平坦な地面に移動します。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意を払って作業台を下げてください。

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

作業台を上げたままの状態で時速 0.48 km 以上で走行しないでください。

風速が秒速 28 mph / 12.5 m を超える場合は作業台を上げないでください。秒速 12.5 m 以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。

平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

水平でない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させて機械を走行させないでください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台を使って機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

作業場の安全

作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大外圧 ー ANSI および CSA	
GS-2669RT – 4 名	225 lbs / 1000 N
GS-3369RT – 4 名	200 lbs / 890 N
GS-4069RT – 3 名	150 lbs / 667 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤがすべて良好な状態にあり、みぞ付きナットが適切に締められ、止めピンが適切に設置されていることを確認してください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。勾配の定格値は、機械が収納状態の場合に適用されます。

最大勾配の定格値、収納状態	
GS-2669RT	40% (22°)
GS-3369RT	35% (19°)
GS-4069RT	35% (19°)
最大定格横勾配、収納状態	
GS-2669RT	40% (22°)
GS-3369RT	35% (19°)
GS-4069RT	35% (19°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

作業場の安全

⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備（PFPE）を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使用方法は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。備え付けられている承認された安全帯取り付け場所を使用してください。

作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

ゲートが開いている場合は、ゲートを閉じてください。

手摺りがしっかりと設置され、出入口がしっかりと閉められるまでは、機械を操作しないでください。

機械が作業台収納位置にない場合は、作業台に入ったり作業台から出たりしないでください。

⚠ 衝突の危険

走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。

作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業台操作の色別方向矢印および走行とステアリング機能用の作業台ステッカープレートをよく見ながら、操作してください。

作業場の安全

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。

路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

頭上で作動中の機械あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

⚠ 人体への傷害の危険

一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で機械を操作してください。

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動する場合は、12V より高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

作業場の安全

⚠ 爆発と火災の危険

LPG ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

危険な場所、あるいは可燃性または爆発性のガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテルのスプレーをかけないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

⚠ 手のケガの危険

手や腕をシザーズに近づけないでください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

レール ピンを取り外すときは、作業台の手摺りをしっかりと握ってください。作業台の手摺りを下げないでください。

⚠ アウトリガーの安全

転倒の危険

機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、アウトリガーを下降させないでください。不安定な場所、滑りやすい場所、くぼみや急に低くなっている近辺、あるいは他の危険な状態で機械を操作しないでください。

機械が水平な状態にある場合以外は作業台を上げないでください。アウトリガーのみを使って機械を水平な状態にできない地面では、機械をセットアップしないでください。

4 つのアウトリガーすべてが適切に下がり、フットパッドが地面にしっかりと接触し、機械が水平な状態にある場合以外は、作業台を上げないでください。

作業台が上がっている状態でアウトリガーを調整しないでください。

アウトリガーを下げたまま走行しないでください。

作業場の安全

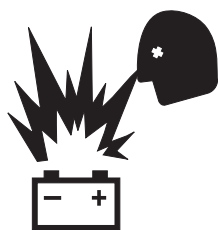
⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

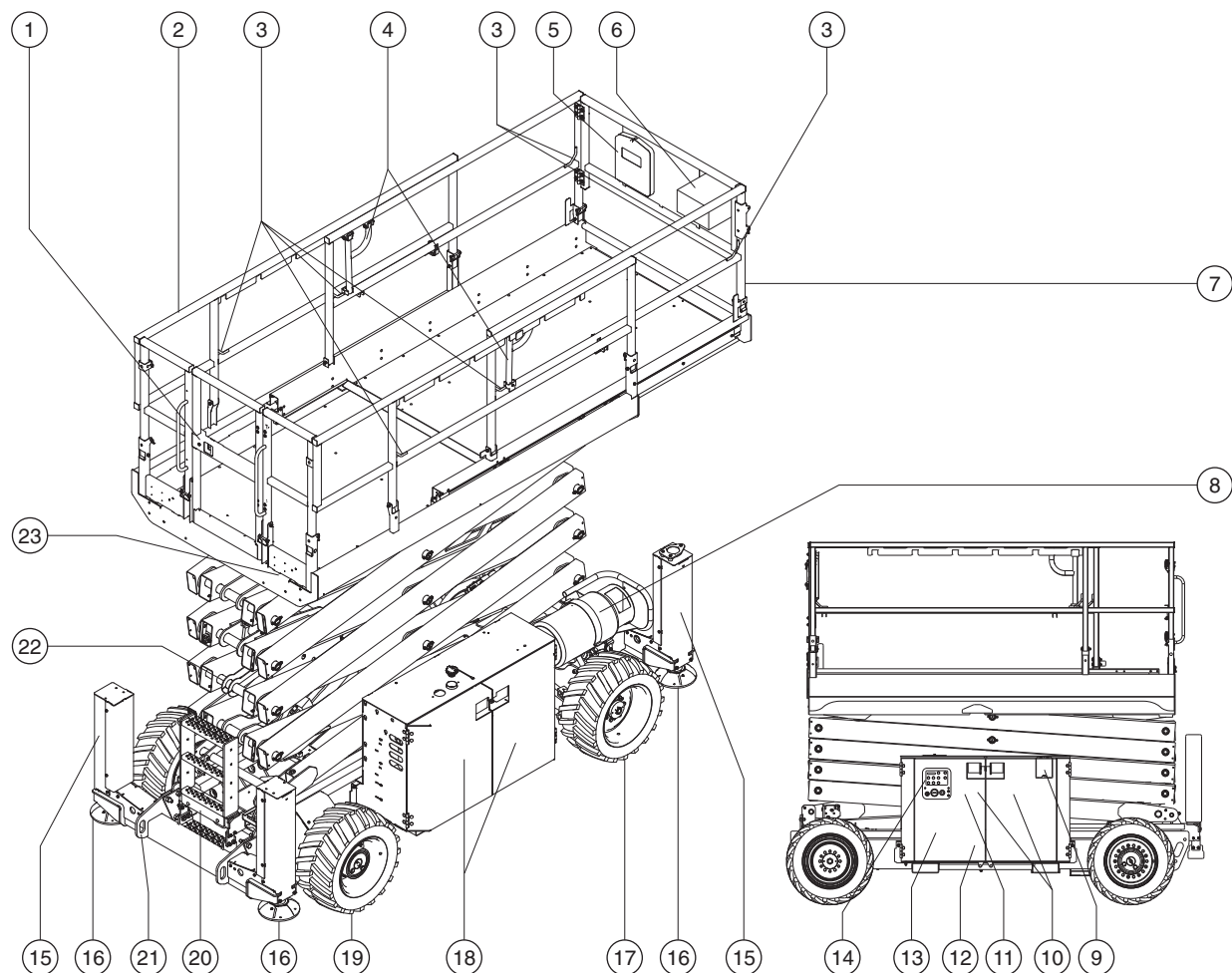
爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。

バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V トより高い電圧の充電器を使用しないでください。

説明

1 作業台出入口ゲート
2 作業台手摺り
3 安全帯固定場所
4 作業台延長部ロックハンドル
5 マニュアル保管場所
6 作業台操作パネル
7 作業台延長部
8 LPG タンク
9 燃料タンク
10 地上操作パネル側面カバー
11 油圧タンク(カバー後ろ)
12 傾斜アラーム (カバー後ろ)
13 作動油量表示ランプ (カバー後ろ)
14 LCD 表示画面付き地上操作パネル
15 アウトリガー ハウジング(アウトリガーに装備されている場合)
16 アウトリガー フットパッド (アウトリガーに装備されている場合)
17 操舵輪
18 エンジン サイドカバー
19 非操舵側タイヤ
20 出入口はしご
21 輸送用の荷締め
22 安全アーム
23 GFCI コンセント

操作パネル

地上操作パネル

1 時間計
2 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ
3 ガソリン/LPG モデル: チョークボタン
  ディーゼルモデル: グロープラグ ボタン
4 エンジン始動ボタン
5 ガソリン/LPG モデル: LPG 選択ボタン、表示ランプ付き
6 エンジンアイドリング選択ボタン、表示ランプ付き
7 LCD 出力画面
8 リフト機能作動ボタン
9 作業台上昇ボタン
10 緊急下降機能作動ボタン
11 緊急下降ボタン
12 作業台下降ボタン
13 赤色非常停止ボタン
14 制御回路用 20A 回路ブレーカー
15 制御回路用 15A 回路ブレーカー

操作パネル

地上操作パネル

1 時間計

時間計は、機械を操作した時間数を表示します。

2 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ

キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチを OFF (オフ) の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置まで回すと、地上操作が作動します。

3 ガソリン/LPG モデル: チョークボタン
このボタンを押すと、チョーク機能が作動します。

ディーゼルモデル: グロープラグ ボタン
このボタンを押すと、グロープラグが作動します。

4 エンジン始動ボタン

このボタンを押すとエンジンが始動します。

5 ガソリン/LPG モデル: LPG 選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押して、燃料を選択します。ランプの点灯は、LPG が選択されていることを示します。ランプの消灯は、ガソリンが選択されていることを示します。

6 エンジンアイドリング選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押すと、エンジンアイドリング設定が選択されます。ランプの点灯は、高アイドリングが選択されていることを示します。ランプの消灯は、低アイドリングが選択されていることを示します。

7 LCD 出力画面

8 リフト機能作動ボタン

このボタンを押すと、リフト機能が作動します。

9 作業台上昇ボタン

このボタンを押すと、作業台が上昇します。

10 緊急下降機能作動ボタン

このボタンを押すと、緊急下降機能が作動可能になります。

11 緊急下降ボタン

このボタンを押すと、緊急下降機能が作動します。

12 作業台下降ボタン

このボタンを押すと、作業台が下降します。

13 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押し込んで OFF(オフ) の位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いて ON(オン)の位置にして、機械を操作します。

14 制御回路用 20A 回路ブレーカー

15 制御回路用 15A 回路ブレーカー

操作パネル

作業台操作パネル

1 アウトリガー自動水平ボタン

2 エンジン始動ボタン

3 エンジンアイドリング選択ボタン、表示ランプ付き

4 ガソリン/LPG モデル: チョークボタン
ディーゼルモデル: グロープラグ ボタン

5 ガソリン/LPG モデル: LPG 選択ボタン、表示ランプ付き

6 ホーンボタン

7 発電機選択ボタン、表示ランプ付き

8 傾斜面上機械ボタン、表示ランプ付き 傾斜に備えた低速度操作

9 緑電源ランプ/赤エラー表示ランプ

10 赤色非常停止ボタン

11 機能作動スイッチ

12 走行機能用比例コントロールハンドル

13 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

14 リスト レスト

15 リフト機能作動ボタン、表示ランプ付

16 アウトリガー上昇/下降およびプラットフォーム上昇/下降用比例ロッカースイッチ

操作パネル

作業台操作パネル

1 アウトリガー自動水平ボタン

このボタンを押すと、自動水平機能が作動します。

2 エンジン始動ボタン

このボタンを押すとエンジンが始動します。

3 エンジンアイドリング選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押すと、エンジンアイドリング設定が選択されます。ランプの点灯は、高アイドリングが選択されていることを示します。ランプの消灯は、低アイドリングが選択されていることを示します。

4 ガソリン/LPG モデル: チョークボタン

このボタンを押すと、温度の低い状態でのエンジン始動が補助されます。

ディーゼルモデル: グロープラグ ボタン

このボタンを押すと、温度の低い状態でのエンジン始動が補助されます。

5 ガソリン/LPG モデル: LPG 選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押すと、LPG が選択されます。

6 ホーンボタン

このボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ボタンを離すと、ホーンが止まります。

7 発電機選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押すと、発電機がオンになります。表示ランプが点灯します。このボタンをもう一度押すと、発電機がオフになります。

8 傾斜面上機械ボタン、表示ランプ付き 傾斜に備えた低速度操作

このボタンを押すと、傾斜面用の低速運転が選択されます。

9 緑電源ランプ/赤エラー表示ランプ

赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にしているときには、緑色電源ランプが点灯します。

エラー表示ランプがついている時は、赤色非常停止ボタンを押しこんで、次に引いて、システムをリセットしてください。赤色ランプがついたままの状態の場合は、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

10 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いて ON(オン)の位置にして、機械を操作します。

11 機能作動スイッチ

コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにすると、走行機能の作動が可能になります。

12 走行機能用比例コントロールハンドル

コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に動かすと、青い矢印が指す方法へ機械が動きます。コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の矢印の方向に動かすと、黄色の矢印が指す方法へ機械が動きます。

操作パネル

13 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

ロッカースイッチの左側を押すと、機械が左に曲がります。

ロッカースイッチの右側を押すと、機械が右に曲がります。

14 リスト レスト

15 リフト機能作動ボタン、表示ランプ付

このボタンを押すと、リフト機能の作動が可能になります。

16 アウトリガー上昇/下降およびプラットフォーム上昇/下降用比例ロッカースイッチ

自動水平ボタン表示ランプが点灯している状態で、ロッカースイッチを上にあげると、アウトリガーが上昇します。ロッカースイッチを下げると、アウトリガーが下がります。

リフト機能操作ボタン表示ランプが点灯している状態で、ロッカースイッチを上にあげると、作業台が上昇します。ロッカースイッチを下げると、作業台が下がります。

点検

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジン冷却液の漏れがないか、冷却液の量が適当かどうかをチェックしてください。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、 シリンダー、マニフォールド
- ❑ 駆動モーター
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ リミットスイッチ、アラームと警報
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ブレーキ解除部品
- ❑ 安全アーム
- ❑ 作業台延長部
- ❑ シザースピンと固定ファスナー
- ❑ 作業台操作ジョイスティック
- ❑ アウトリガー ハウジングとフットパッド（装備されている場合）
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ 作業台出入口ゲート
- ❑ 発電機 （搭載している場合）

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障

- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化
- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 側面レールが設置され、ボルトが締まっていることを確認します。

注記：機械を検査するために作業台を上げなければならない場合は、安全アームが所定の位置にあることを確認します。「操作手順」のセクションを参照してください。

点検

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

2 作業台と地上にある両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

3 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

⊙ 結果 : LCD 画面が点灯し、システムの準備が整っていることを示すメッセージが表示されます。

注記 : 寒い状況では、LCD 出力画面が温まって表示が現れるまでに時間がかかります。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にします。

⊙ 結果 : エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

上昇/下降機能のテスト

この機械の警告音と標準ホーンはすべて同じ中央アラームから発せられます。ホーンは継続音です。下降アラームは毎分 60 回のビープ音を鳴らします。機械が水平でないことを警告するアラームは、毎分 180 回のビープ音を発します。

7 リフト機能作動ボタンを押さないでください。作業台上昇ボタンを押したままの状態にします。

⊙ 結果 : 作業台は上昇しません。

8 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。 作業台上昇ボタンを押したままの状態にします。

⊙ 結果 : 作業台が上昇します。

9 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。 作業台下降ボタンを押したままの状態にします。

⊙ 結果 : 作業台が下降します。 作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

点検

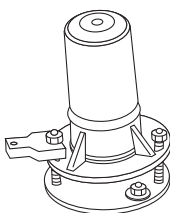
傾斜センサーのテスト

注記：このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

10 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

11 作業台を 7 ft / 2.13 m 上げます。

12 地上操作のサイドカバーを両方とも開き、地上操作パネル横の傾斜センサーの位置を確認します。

13 傾斜センサーの片側を下に押し、傾斜センサーテストツールを一方の棒の下にします。

14 すべての地上操作と作業台操作の機能をテストします。

⊙ 結果：作業台操作と地上操作でアラームが鳴ります。

⊙ 結果：走行機能はどちらの方向にも作動しません。 リフト機能は作動しません。

⊙ 結果：作業台の赤色エラー表示ランプが点灯します。

15 傾斜センサーテストツールを取り外します。

16 作業台を下げます。

作業台操作

非常停止のテスト

17 作業台の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

18 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

⊙ 結果：緑色の表示ランプが点灯します。

警報のテスト

19 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

点検

上昇/下降機能と機能作動のテスト

20 エンジンを始動させます。

21 青色矢印の指示する方向に、上下ロッカースイッチを動かします。

⊙ 結果:作業台は上昇しません。

22 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。

23 青色矢印の指示する方向に、上下ロッカースイッチを動かします。

⊙ 結果:作業台が上昇します。

24 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。

25 黄色矢印の指示する方向に、上下ロッカースイッチを動かします。

⊙ 結果:作業台が下降します。 作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

ステアリングのテスト

注記:ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

26 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

27 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、青色三角形の示す方向に向きます。

28 サムロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、黄色三角形の示す方向に向きます。

点検

走行とブレーキのテスト

29 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

30 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、急停止します。

31 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

32 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

走行制限速度のテスト

33 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。 作業台を地上約 7.5 ft / 2.28 m まで上げます。

34 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

35 コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:作業台が上昇した状態での最大走行速度は秒速 0.44 ft / 13 cm を越えてはいけません。

作業台を上げた状態での走行速度が秒速 0.44 ft / 13 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

緊急下降のテスト

36 リフト機能作動ボタンを押したままの状態で、作業台を約 2 ft / 60 cm 上昇させます。

37 赤色非常停止ボタンを押してエンジンを停止させます。

38 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

39 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。 黄色矢印の指示する方向に、上下ロッカースイッチを動かします。

⊙ 結果:作業台が下降します。

注記:非常停止ボタンは、テスト実行時に押すことができます。

点検

アウトリガー システムのテスト（装備されている場合）

40 自動水平ボタンを押したままの状態にします。

41 上下ロッカースイッチを、下方向に動かします。

⊙ 結果：アウトリガーが伸張して、機械を水平にします。機械が水平になると、ビープ音が鳴ります。アウトリガーの緑色 LED 表示ランプが点灯します。

42 自動水平ボタンを押したままの状態にします。

43 上下ロッカースイッチを、上方向に動かします。

⊙ 結果：アウトリガーが収納され、閉じた状態になります。アウトリガーの赤色 LED 表示ランプが点灯します。

振動システムのテスト

注記：このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

44 作業台操作でエンジンを始動します。

45 エンジン アイドル ボタンを選択して、高アイドリングであることを示します。ランプ点灯は、高アイドリングであることを示します。

振動システムのテスト(収納時)

46 左側ステアリングタイヤを、高さ 4 in / 10 cm の段差の上に乗り上げます。

⊙ 結果：4 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

47 右側ステアリングタイヤを、高さ 4 in / 10 cm の段差の上に乗り上げます。

⊙ 結果：4 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

注記：地上操作パネルに故障コードが表示されてないことを確認してください。

振動システムのテスト（上昇時）

48 リフト機能作動ボタンを押したままの状態で、作業台を約 7 ft / 213 cm から 9 ft / 274 cm 上昇させます。

49 左側ステアリングタイヤを、深さ 4 in / 10 cm の穴の中に乗り入れます。

⊙ 結果：4 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

50 右側ステアリングタイヤを、深さ 4 in / 10 cm の穴の中に乗り入れます。

⊙ 結果：4 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

注記：地上操作パネルに故障コードが表示されてないことを確認してください。

点検

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

❑ 急に低くなっているところ、くぼみ

❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片

❑ 傾斜面

❑ 不安定な地面、滑りやすい地面

❑ 頭上の障害物、高圧送電線

❑ 危険な場所

❑ 機械の重量に耐えられない地面

❑ 風や天候の状態

❑ 関係作業員以外の人の存在

❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

警告文付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

品番	ステッカーの説明	数量
28158	ラベル ー 無鉛	1
28159	ラベル ー ディーゼル	1
28160	ラベル ー 液化石油ガス (予備 LPG タンクオプションにつき追加 1 枚)	1
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V	2
28175	警告 ー コンパートメントへのアクセス	1
28176	ラベル ー 説明書の不備	1
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V	2
28236	警告 ー 不適切な操作	1
28373	ラベル ー フォークリフト ポケット	4
31060	危険 ー 転倒の危険、リミット スイッチ	1
31788	危険 ー 爆発/やけどの危険	1
38149	ラベル ー 特許品	1
40434	ラベル ー 安全帯固定箇所	6
43618	ラベル ー 方向矢印	1
44255	危険 ー 挟まる危険	4
44736	危険 ー 転倒の危険、傾斜アラーム	1
44981	ラベル ー 作業台への空気管	2
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	4
52494	要注意 ー 挟まる危険、手摺り	1
52865	警告 ー 1 年毎の点検記録	1
52967	外装 ー 4 x 4	2
72086	ラベル ー 吊り上げ点	4
72186	警告 ー 挟まる危険、アウトリガー	4
82366	ラベル ー Chevron Rando	1
82418	地上操作パネル	1
82557	ラベル ー 作業台操作場所	1
82558	警告 ー 皮膚への噴射の危険	2

品番	ステッカーの説明	数量
82561	危険 ー 挟まる危険	2
82793	指示 ー 操作指示、地上	1
97602	警告 ー 爆発の危険	1
97719	ラベル ー 安全アーム	1
114202	ラベル ー 輸送図	2
114258	危険 ー 爆発の危険	1
114385	危険 ー 感電の危険	2
114386	危険 ー 安全上の規則	2
131587	指示 ー クボタ ディーゼルエンジン仕様	1
133278	ラベル ー 低硫黄燃料(ディーゼルモデル)	1
139249	指示 ー Perkins エンジン仕様	1
228327	外装 ー Genie GS-2669RT	2
228328	外装 ー Genie GS-3369RT	2
228329	外装 ー Genie GS-4069RT	2
228407	地上操作パネル	1
229427	ラベル ー アウトリガー負荷	4
229827	警告 ー 表面高温	3
229835	指示 ー タイヤ仕様、フロント	2
229871	指示 ー クボタ ガスエンジン仕様	1
229915	危険 ー アウトリガーの安全と指示	1
229916	指示 ー 操作指示、作業台	1
230804	指示 ー タイヤ仕様、リア	2
230808	作業台操作パネル	1

ステッカー点検 次ページへ続く。

点検

影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。

点検

警告文付きステッカーの点検

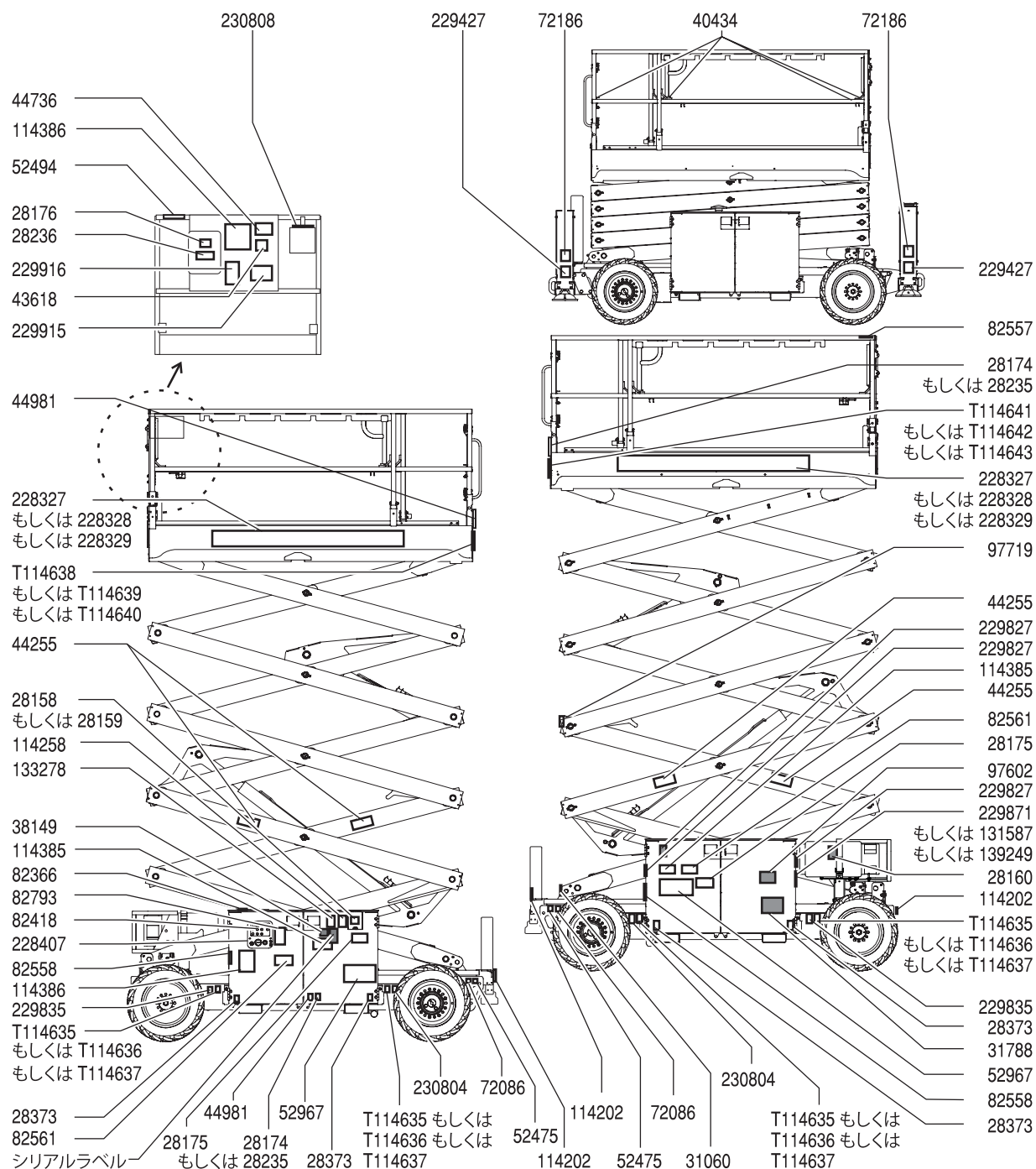
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

ステッカー点検 前ページからの続き。

品番	ステッカーの説明	数量
T114635	ラベル ー 輪荷重、GS-2669RT	4
T114636	ラベル ー 輪荷重、GS-3369RT	4
T114637	ラベル ー 輪荷重、GS-4069RT	4
T114638	指示 ー 最大積載量、1500 lbs / 680 kg、GS-2669	1
T114639	指示 ー 最大積載量、1000 lbs / 454 kg、GS-3369	1
T114640	指示 ー 最大積載量、800lbs / 363 kg、GS-4069	1
T114641	指示 ー 最大側方圧力 225 lbs / 1000 N、GS-2669RT、ANSI & CSA	1
T114642	指示 ー 最大側方圧力 200 lbs / 890 N、GS-3369RT、ANSI & CSA	1
T114643	指示 ー 最大側方圧力 150 lbs / 667 N、GS-4069RT、ANSI & CSA	1

点検

アウトリガー付きモデル用追加ステッカー

影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。

点検

シンボル付きステッカーの点検

次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

品番	ステッカーの説明	数量
28158	ラベル ー 無鉛	1
28159	ラベル ー ディーゼル	1
28160	ラベル ー 液化石油ガス	1
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V	2
40434	ラベル ー 安全帯固定箇所	4
43618	ラベル ー 方向矢印	1
44981	ラベル ー 作業台への空気管	2
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	4
52967	外装 ー 4 x 4	2
72086	ラベル ー 吊り上げ点	4
82418	地上操作パネル	1
82473	ラベル ー コンパートメントへのアクセス	2
82474	ラベル ー 安全輪止め使用	2
82475	ラベル ー 挟まる危険、アウトリガー	4
82476	ラベル ー 感電の危険	2
82481	ラベル ー バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル ー マニュアルを読む	2
82560	ラベル ー 皮膚への噴射の危険	2
82562	ラベル ー 挟まる危険	4
82666	ラベル ー フォークリフト ポケット	4
97719	ラベル ー 安全アーム	1
114202	ラベル ー 輸送図	2
114251	ラベル ー 爆発の危険	1
114371	ラベルーアウトリガーの安全	1
114337	ラベル ー 転倒の危険、リミットスイッチ	1
114338	ラベル ー 転倒の危険、傾斜アラーム	1
133537	ラベル ー 挟まる危険	1
228327	外装 ー Genie GS-2669RT	2

品番	ステッカーの説明	数量
228328	外装 ー Genie GS-3369RT	2
228329	外装 ー Genie GS-4069RT	2
228407	地上操作パネル	1
229427	ラベル ー アウトリガー負荷	4
229828	警告 ー 表面高温	3
230492	ラベル ー 外圧、GS-2669	1
230493	ラベル ー 外圧、GS-3369	1
230494	ラベル ー 外圧、GS-4069	1
230808	作業台操作パネル	1
230809	ラベル ー 最大積載重量、GS-2669	1
230810	ラベル ー 最大積載重量、GS-3369	1
230811	ラベル ー 最大積載重量、GS-4069	1
T114635	ラベル ー 輪荷重、GS-2669RT	4
T114636	ラベル ー 輪荷重、GS-3369RT	4
T114637	ラベル ー 輪荷重、GS-4069RT	4

点検

影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。

操作手順

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、ON（オン）の位置にあることを確認します。

ガソリン/LPG モデル

1 LPG ボタンを押して、LPG を選択します。

2 エンジン始動ボタンを押します。

注記:-6°C / 20°F 以下の低温の状況では、機械をまずガソリンで始動し、2 分間暖めてから、LPG に切り替える必要があります。温まったエンジンは LPG で始動することができます。

ディーゼルモデル

1 エンジン始動ボタンを押します。

注記:10°C / 50°F 以下の温度の低い条件下では、エンジン始動の前にグロープラグボタンを 5 秒から 10 秒ほど押し続けてください。グロープラグボタンの連続使用は 20 秒以内にしてください。

すべてのモデル

15 秒間のクランク後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別して修理してください。60 秒間待ってから、再度始動を試みてください。

-6°C /20°F 以下の寒い状況では、油圧システムの損傷を避けるため、操作の前に 5 分間エンジンを温めてください。

-18°C / 0°F 以下の極寒の状況では、オプションの低温スタートキットを機械に搭載する必要があります。気温 -18°C / °F 以下の環境でエンジンを始動する場合、ブースターバッテリーが必要な場合があります。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

3 エンジンを始動させます。

作業台を位置につける

1 リフト機能作動ボタンを押したままにします。

2 上昇機能または下降機能を作動させます。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

エンジン アイドリング選択

アイドリング選択ボタンを押して、エンジンアイドリング速度 (rpm) を選択します。エンジンのアイドリングには次の 2 つの設定があります。

- 表示ランプ消灯:低アイドリング
- 表示ランプ点灯:高アイドリング

操作手順

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

3 エンジンを始動させます。

作業台を位置につける

1 リフト機能作動ボタンを押したままにします。

2 上下ロッカースイッチを、好みの方向に動かします。

ステアリング

1 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

2 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。

走行

1 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを離します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

作業台が上昇した状態では走行スピードが制限されています。

走行セレクトボタン

傾斜面上の機械シンボル:傾斜用のローレンジ運転

赤表示ランプ点灯

エラー表示ランプがついている時は、赤色非常停止ボタンを押して、次に引いて、システムをリセットしてください。

赤色ランプがついたままの状態の場合は、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

操作手順

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。

最大定格勾配、収納状態:			
	GS-2669RT	40%	22°
	GS-3369RT	35%	19°
	GS-4069RT	35%	19°

最大定格横勾配、収納状態:			
	GS-2669RT	40%	22°
	GS-3369RT	35%	19°
	GS-4069RT	35%	19°

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

傾斜勾配の確認**:**

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft / 1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離 (高さ) を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:

木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

12 in ÷ 144 in = 0.083
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083
0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

作業台の延長と収納

1　作業台の延長ロックハンドルを水平に持ち上げます。

2　作業台の延長ロックハンドルを押し、作業台を目的の位置まで延長します。

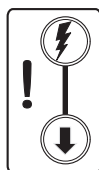
作業台を延長している時は、作業台の延長部分に立たないでください。

3　作業台延長ロックハンドルを下げ、延長デッキがロックされていることを確認します。

緊急下降

地上操作

リフト機能作動ボタンを押したままの状態にし、下降機能を作動させます。

電源障害の場合、緊急下降機能作動ボタンと緊急下降ボタンを使用します。

作業台操作

リフト機能作動ボタンを押したままで、上下ロックスイッチを下の方向に動かします。

コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定された物体の間に安全な距離を保ってください。

コントローラを使う際、機械が走行する方向に注意してください。

アウトリガー操作（装備されている場合）

1　作業場の下に機械を置きます。

注記：アウトリガーが動作するには、エンジンが動いていなければなりません。

2　自動水平ボタンを押したままの状態にします。

3　上下ロッカースイッチを、下方向に動かします。アウトリガーが伸張して、機械を水平にします。機械が水平になると、ビープ音が鳴ります。

リフト機能作動ボタンの表示ランプは、1つの（すべてのアウトリガーではなく）アウトリガーが下りていると、赤色に点灯します。すべての走行およびリフト機能は無効化されています。

すべてのアウトリガーが地面としっかりと接触すると、リフト機能動作ボタンと個々のアウトリガーボタンのランプが緑色に点灯します。

アウトリガーが下がっている状態のときは走行機能は無効化されます。

操作手順

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチを OFF (オフ) の位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 輪止めをかまします。

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた高所リフト作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

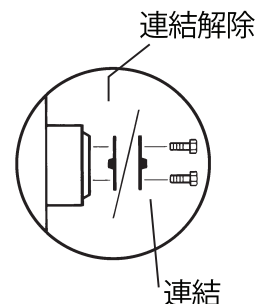
☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイールの設定

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

4WD モデル:2 つのリアトルクハブ取外しキャップを反転させて、ホイールブレーキを解除します。けん引マニホールドのニードルバルブを時計回りと反対の方向に、止まるまで回します。

シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

再びブレーキをかけるには逆の手順を行ってください。

注記:ニードルバルブは、通常運転中は常に閉じていなければなりません。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

延長デッキを収縮し、固定します。

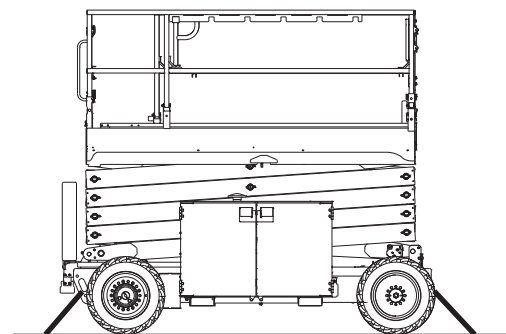
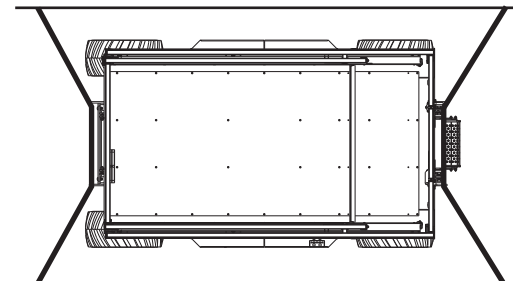
シャーシの荷締め箇所を使って輸送車両へ固定してください。

最低でも 2 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

輸送の前にキースイッチを OFF(オフ)の位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

手摺りが下方に曲がっている場合は、輸送前にストラップで固定します。

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

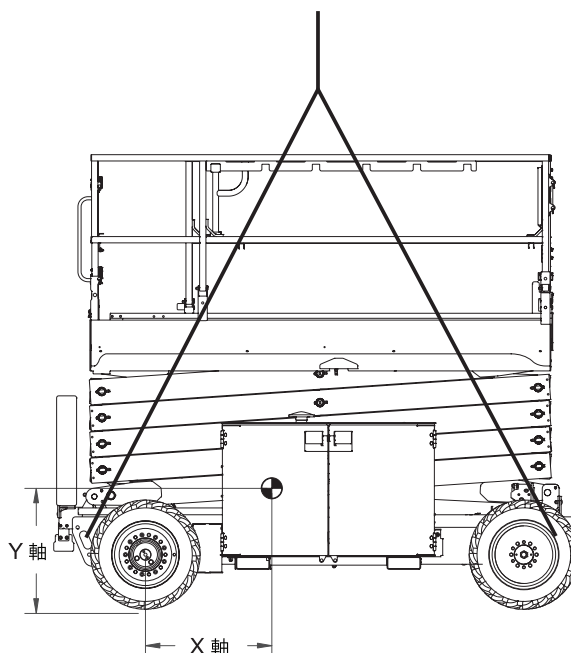
持ち上げの手順

作業台を完全に下げます。延長デッキ、操作パネルおよび部品トレイが固定されていることを確認してください。 機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

重心	X 軸	Y 軸
GS-2669RT	42.5 in	30.9 in
	108.1 cm	78.5 cm
GS-3369RT	42.6 in	31.4 in
	108.2 cm	79.8 cm
GS-4069RT	38.8 in	31.1 in
	98.6 cm	79.0 cm

メンテナンス

必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。

この手順を行うために、工具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

この手順を行う場合には、エンジンが冷えた状態になっていなければなりません。

エンジンオイル量の点検

エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。オイル量が不適切な状態で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注記:オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

クボタ WG-972-E3 エンジン	
オイルタイプ	SAE 10W ～ 10W-30
クボタ D-1105 エンジン	
オイルタイプ	SAE 10W ～ 10W-30
Perkins 403D-11 エンジン	
オイルタイプ	SAE 15W-40

メンテナンス

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 作業台が収納され、エンジンが停止していることを確認してください。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果:作動油の量は表示計の上から 2 in / 5 cm 内にしなければいけません。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

バッテリーの点検

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

注記:密封型またはメンテナンス不要のバッテリーを搭載する機械では、この手順は必要ありません。

▲ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

▲ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注記:このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記:端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

メンテナンス

エンジン冷却液の量の点検

エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化で、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⚠ 人体への傷害の危険ラジエーター内の液体は圧力がかかり、非常に熱くなっています。キャップをはずし、液体を追加するときは注意してください。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

仕様

GS-2669RT		
高さ、操作時最大	32 ft	9.8 m
高さ、作業台最大	26.2 ft	8 m
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	102 in	2.59 m
高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態	75.5 in	1.92 m
高さ、手摺り	58 in	1.47 m
幅	69 in	1.75 m
長さ、作業台収納時	123 in	3.12 m
長さ、作業台収納時、 アウトリガーなしモデル	148 in	3.76 m
長さ、作業台延長時	177.5 in	4.51 m
長さ、作業台延長時、 アウトリガーなしモデル	189.5 in	4.81 m
長さ、外側の作業台延長時	170 in	4.32 m
最大積載荷重	1500 lbs	680 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/s
ホイールベース	90 in	2.29 m
旋回半径 (外側)	181.2 in	4.6 m
旋回半径 (内側)	83 in	2.11 m
最低地上高	9,5 in	24 cm
重量	7295 lbs	3309 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)

操作パネル	比例
作業台 AC コンセント	標準

作業台寸法		
作業台奥行き x 幅	110 in x 63 in	2.79 x 1.6 m
作業台延長部長さ	105 in	2.67 m

走行速度		
収納時、最大	3.5 mph	5.63 km/h
作業台上昇時、最大	0.3 mph 40 ft/90 sec	0.48 km/h 12.2 m/90 sec
最大油圧力(機能)	3500 psi	241 バール
タイヤ サイズ		26 x 12 x 380 in

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	<85 dBA
作業台での音圧レベル	<79 dBA

振動値は 2.5 m/s^2 を超過しません。

最大定格横勾配、収納状態	40% (22°)
最大勾配の定格値、収納状態	40% (22°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

床荷重表		
最大輪荷重	2891 lbs	1311 kg
最大アウトリガー荷重	2891 lbs	1311 kg
タイヤ接地圧	71.9 psi	5.06 kg/cm^2 496 kPa
アウトリガー接地圧	36.8 psi	2.59 kg/cm^2 254 kPa
車体占有面の平均圧力	173 psf	846 kg/m^2 8.3 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

GS-3369RT		
高さ、操作時最大	39 ft	11.9 m
高さ、作業台最大	32.67 ft	10 m
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	102 in	2.59 m
高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態	75.5 in	192 m
高さ、手摺り	58 in	1.47 m
幅	69 in	1.75 m
長さ、作業台収納時	123 in	3.12 m
長さ、作業台収納時、 アウトリガーなしモデル	148 in	3.76 m
長さ、作業台延長時	177.5 in	4.51 m
長さ、作業台延長時、 アウトリガーなしモデル	189.5 in	4.81 m
長さ、外側の作業台延長時	170 in	4.32 m
最大積載荷重	1000 lbs	454 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/s
ホイールベース	90 in	2.29 m
旋回半径 (外側)	181.2 in	4.6 m
旋回半径 (内側)	83 in	2.11 m
最低地上高	9,5 in	24 cm
重量	7695 lbs	3490 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)

操作パネル	比例
作業台 AC コンセント	標準

作業台寸法		
作業台奥行き x 幅	110 in x 63 in	2.79 x 1.6 m
作業台延長部長さ	105 in	2.67 m

走行速度		
収納時、最大	3.5 mph	5.63 km/h
作業台上昇時、最大	0.3 mph 40 ft/90 sec	0.48 km/h 12.2 m/90 sec
最大油圧力(機能)	3500 psi	241 バール
タイヤ サイズ		26 x 12 x 380 in

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	<85 dBA
作業台での音圧レベル	<79 dBA

振動値は 2.5 m/s^2 を超過しません。

最大勾配の定格値、収納状態	35% (19°)
最大定格横勾配、収納状態	35% (19°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

床荷重表		
最大輪荷重	3058 lbs	1387 kg
最大アウトリガー荷重	3058 lbs	1387 kg
タイヤ接地圧	76.1 psi	5.35 kg/cm^2 524 kPa
アウトリガー接地圧	38.9 psi	2.74 kg/cm^2 268 kPa
車体占有面の平均圧力	172 psf	838 kg/m^2 8.22 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

GS-4069RT		
高さ、操作時最大	46 ft	14 m
高さ、作業台最大	40.25 ft	12.3 m
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	108 in	2.74 m
高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態	82 in	2.08 m
高さ、手摺り	58 in	1.47 m
幅	69 in	1.75 m
長さ、作業台収納時	123 in	3.12 m
長さ、作業台収納時、 アウトリガーなしモデル	148 in	3.76 m
長さ、作業台延長時	177.5 in	4.51 m
長さ、作業台延長時、 アウトリガーなしモデル	189.5 in	4.81 m
長さ、外側の作業台延長時	170 in	4.32 m
最大積載荷重	800 lbs	363 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/s
ホイールベース	90 in	2.29 m
旋回半径 (外側)	181.2 in	4.6 m
旋回半径 (内側)	83 in	2.11 m
最低地上高	9,5 in	24 cm
重量	10,320 lbs	4681 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)

操作パネル	比例
作業台 AC コンセント	標準

作業台寸法		
作業台奥行き x 幅	110 in x 63 in	2.79 x 1.6 m
作業台延長部長さ	105 in	2.67 m

走行速度		
収納時、最大	3.5 mph	5.63 km/h
作業台上昇時、最大	0.3 mph 40 ft/90 sec	0.48 km/h 12.2 m/90 sec
最大油圧力(機能)	3500 psi	241 バール
タイヤ サイズ		26 x 12 x 380 in

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	<85 dBA
作業台での音圧レベル	<78 dBA

振動値は 2.5 m/s^2 を超過しません。

最大勾配の定格値、収納状態	35% (19°)
最大定格横勾配、収納状態	35% (19°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

床荷重表		
最大輪荷重	3816 lbs	1731 kg
最大アウトリガー荷重	3816 lbs	1731 kg
タイヤ接地圧	94.9 psi	6.68 kg/cm^2 654 kPa
アウトリガー接地圧	48.3 psi	3.42 kg/cm^2 335 kPa
車体占有面の平均圧力	214 psf	1045 kg/m^2 10.25 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。